

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		火山砂防		路河川名等	内の巻川					
事業毎の通番		2	市町村名	信濃町	箇所名(ふりがな)	古海(ふるみ)				
事業概要	事業目的	本溪流は、長野県上水内郡信濃町の北東部に位置する土石流危険渓流であり、流域内には不安定土砂や倒木が多く存在する。また、保全対象には人家13戸や古海診療所(要配慮者利用施設)が立地しているほか、信濃町の地域防災計画に位置付けられている避難路((主)飯山妙高高原線)が通過しており、土砂災害が発生した場合は甚大な被害となる恐れがある。そのため、砂防事業により砂防堰堤等の施設を整備し、下流の人家や診療所、公共施設等の保全を図る。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等	砂防法					
	関連する事業、計画等									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家:13戸 診療所 県道、町道								
	着手年度	平成28年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	6.7		国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基			200,000	110,000		81,000	9,000	
	年度事業内容(主な工種)	地形測量 1式 地質調査 1式			15,000	8,250		6,075	675	
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	土石流から人家13戸、県道(避難路)、町道、要配慮者利用施設(古海診療所)等を保全							
		間接的効果(定量的・定性的)								
評価の視点	必要性	【保全人家戸数】13戸 【保全公共施設】県道、町道、診療所 【要配慮者利用施設】古海診療所 【避難場所】(主)飯山妙高高原線						評価	A	
	重要性	【災害履歴】なし 【交通影響】県道((主)飯山妙高高原線) 【位置付け】地域防災計画に位置づけあり(避難路、土石流危険渓流)						評価	B	
	効率性	【費用対効果】B/C=6.7 【早期効果発現】事業期間:4年間 【工法等比較検討】砂防計画策定時に検討 【総合調整】治山事業と調整済						評価	A	
	緊急性	【地形地質】火山岩、地すべり地形あり 【流域植生】放置林 【平均渓床勾配・土砂整備率】勾配:約17.7°、整備率:0% 【危険地区】土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域あり						評価	A	
	計画熟度	【情報共有】信濃町と情報の共有化が図られている						評価		
		【地域要望】信濃町より要望あり 【地域合意】砂防計画策定後住民説明会を実施予定 【住民参加】現時点では住民関与は低い						評価	C	
部意見	本溪流の保全対象には、人家のほか要配慮者利用施設や避難路等の公共施設が立地しており、早急に土砂災害対策を行う必要がある。		行政改革課意見	流域内に不安定土砂や倒木が多数存在している。保全対象に人家、避難路となる県道、町道、診療所があることから、必要性、緊急性が認められる。		評価結果	○	総合評価	A	

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)		
	【整備の必要性がわかる状況写真等】		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	内の巻川の流域には不安定土砂や倒木が多く存在しており、また、保全対象には人家13戸や古海診療所(要配慮者利用施設)が立地しているほか、信濃町の地域防災計画に位置付けられている避難路((主)飯山妙高高原線)が通過していることから、土砂災害が発生した場合は甚大な被害となる恐れがあるため、砂防事業による砂防堰堤等の施設整備が必要となっている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	信濃町から強い要望をうけている。	
	③事業説明等の経緯	砂防計画を策定した後、地域住民へ説明を行う予定である。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	-	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	今後周辺環境への影響を抑えることも観点に、設計・工法等の検討を行う予定である。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、溪流の安全度が高まり民生の安定が図られ、地域防災力の向上が期待される。	
	⑦その他	砂防指定申請予定	事業代表地点の緯度経度